

ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書（全体版） 第14期

（決算日 2025年6月10日）
（作成対象期間 2024年12月11日～2025年6月10日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2018年6月11日～2028年6月9日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり） （適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし） （適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇SUZ0275220250610◇

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2752>
<2753>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
10期末(2023年 6 月12日)	円 8,179	円 0	% 3.8	14,035	% 8.8	% －	% 99.0	百万円 2,200
11期末(2023年12月11日)	8,212	100	1.6	14,806	5.5	－	99.1	2,018
12期末(2024年 6 月10日)	8,255	50	1.1	16,987	14.7	0.0	99.3	1,775
13期末(2024年12月10日)	8,739	450	11.3	18,749	10.4	0.0	98.7	1,515
14期末(2025年 6 月10日)	8,677	200	1.6	19,404	3.5	0.0	99.1	1,371

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

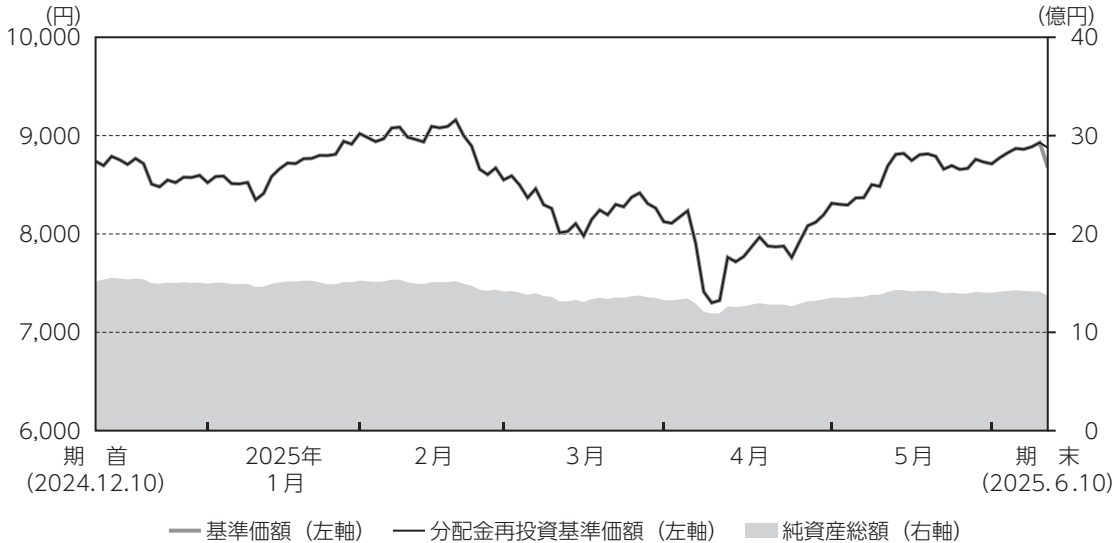
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：8,739円

期 末：8,677円（分配金200円）

騰落率：1.6%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、米国や欧州の決済関連銘柄などの保有株式が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2024年12月10日	円 8,739	% －	18,749	% －	% 0.0	% 98.7
12月末	8,522	△2.5	18,344	△2.2	0.0	99.8
2025年 1 月末	9,020	3.2	18,810	0.3	0.0	99.0
2 月末	8,550	△2.2	18,496	△1.3	0.0	99.2
3 月末	8,125	△7.0	17,942	△4.3	0.0	99.4
4 月末	8,312	△4.9	18,000	△4.0	0.0	99.3
5 月末	8,713	△0.3	19,104	1.9	0.0	99.3
(期末) 2025年 6 月10日	8,877	1.6	19,404	3.5	0.0	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.12.11～2025.6.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、当作成期首比で上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、2024年12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで小幅に下落しました。2025年1月中旬以降は、米国のC P I（消費者物価指数）が市場予想を下回りインフレ鈍化が意識されたことや良好な企業決算などが好感され、株価は上昇しました。2月下旬以降

は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念が強まり、下落しました。その後、4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しいものとなったことなどが嫌気されて株価は急落しましたが、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は急反発しました。5月には、米中双方が関税を大幅に引き下げたことなどが好感されて続伸し、当作成期末には当作成期首とほぼ同水準にまで回復しました。欧州では、おおむね米国市場と同様の動きとなりましたが、2025年3月にドイツが財政拡大政策を発表したことを受け、株価は総じて上昇しました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024.12.11～2025.6.10)

■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、英国のロンドン証券取引所グループなどを組み入れました。

個別銘柄については、業績の見通しが悪化したことから、決済サービス関連銘柄のフライワイヤーやグローバル・ペイメントを全売却しました。一方で、信頼性の高い決済ソリューションを提供するショッピングファイヤ、東南アジアの金融サービスの成長期待からシンガポールの電子商取引のプラットフォーム運営企業であるシーを新規に組み入れました。

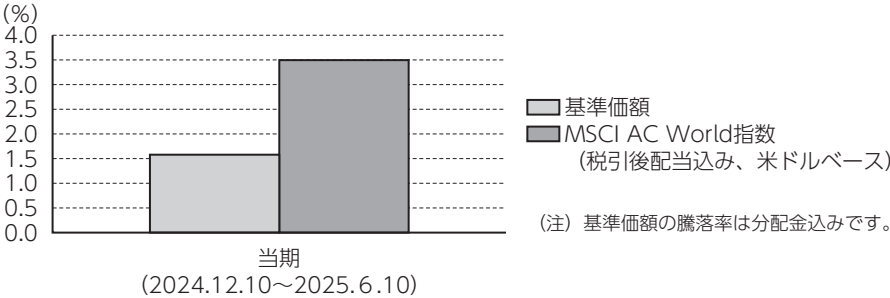
また、保有する実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年12月11日 ～2025年6月10日	
当期分配金（税込み）（円）	200	
対基準価額比率（%）	2.25	
当期の収益（円）	0	
当期の収益以外（円）	199	
翌期繰越分配対象額（円）	1,384	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.17円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		706.36
(d) 分配準備積立金	✓	878.45
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		1,584.99
(f) 分配金		200.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		1,384.99

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目し、ポートフォリオ構築を行っていく方針です。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざしてまいります。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

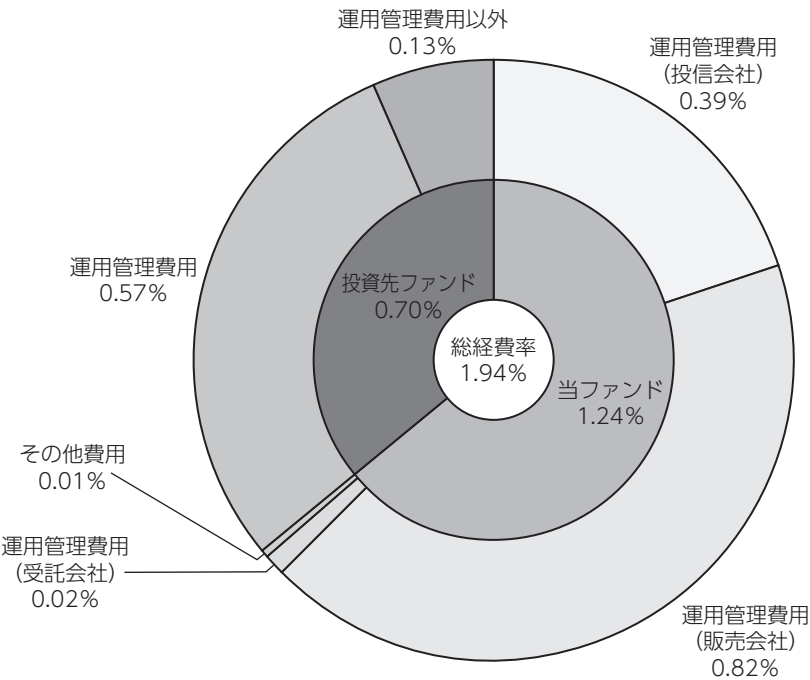
項 目	当期 (2024.12.11~2025.6.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,502円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(35)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.618	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率（①+②+③）	1.94%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年12月11日から2025年6月10日まで)

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式ファン ド（ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	千口 26,925.588	千円 33,000	千口 162,182.368	千円 198,000

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2024年12月11日から2025年6月10日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等		B / A	売付額等		D / C
	A	うち利害関係人との取引状況B		C	うち利害関係人との取引状況D	
公社債	百万円 178,163	百万円 23,677	% 13.3	百万円 32,086	百万円 —	% —
コール・ローン	7,276,625	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式 ファンド（ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	千口 1,092,047.688	千円 1,360,254	% 99.1

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末
	口 数	口 数 評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年6月10日現在

項 目	当 期 末
	評 価 額 比 率
投資信託受益証券	千円 1,360,254 % 95.0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0 0.0
コール・ローン等、その他	71,790 5.0
投資信託財産総額	1,432,046 100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,432,046,172円
コール・ローン等	71,790,573
投資信託受益証券(評価額)	1,360,254,600
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	60,083,331
未払収益分配金	31,623,140
未払解約金	19,682,853
未払信託報酬	8,719,039
その他未払費用	58,299
(C) 純資産総額(A－B)	1,371,962,841
元本	1,581,157,032
次期繰越損益金	△ 209,194,191
(D) 受益権総口数	1,581,157,032口
1万口当り基準価額(C／D)	8,677円

*期首における元本額は1,733,755,359円、当作成期間中における追加設定元本額は35,065,340円、同解約元本額は187,663,667円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は8,677円です。
*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は209,194,191円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月11日 至2025年6月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	38,589円
受取利息	38,589
(B) 有価証券売買損益	30,495,450
売買益	34,487,669
売買損	△ 3,992,219
(C) 信託報酬等	△ 8,777,338
(D) 当期損益金(A + B + C)	21,756,701
(E) 前期繰越損益金	△284,806,078
(F) 追加信託差損益金	85,478,326
(配当等相当額)	(111,686,827)
(売買損益相当額)	(△ 26,208,501)
(G) 合計(D + E + F)	△177,571,051
(H) 収益分配金	△ 31,623,140
次期繰越損益金(G + H)	△209,194,191
追加信託差損益金	85,478,326
(配当等相当額)	(111,686,827)
(売買損益相当額)	(△ 26,208,501)
分配準備積立金	107,301,842
繰越損益金	△401,974,359

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	27,178円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	111,686,827
(d) 分配準備積立金	138,897,804
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	250,611,809
(f) 分配金	31,623,140
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	218,988,669
(h) 受益権総口数	1,581,157,032口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	200円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

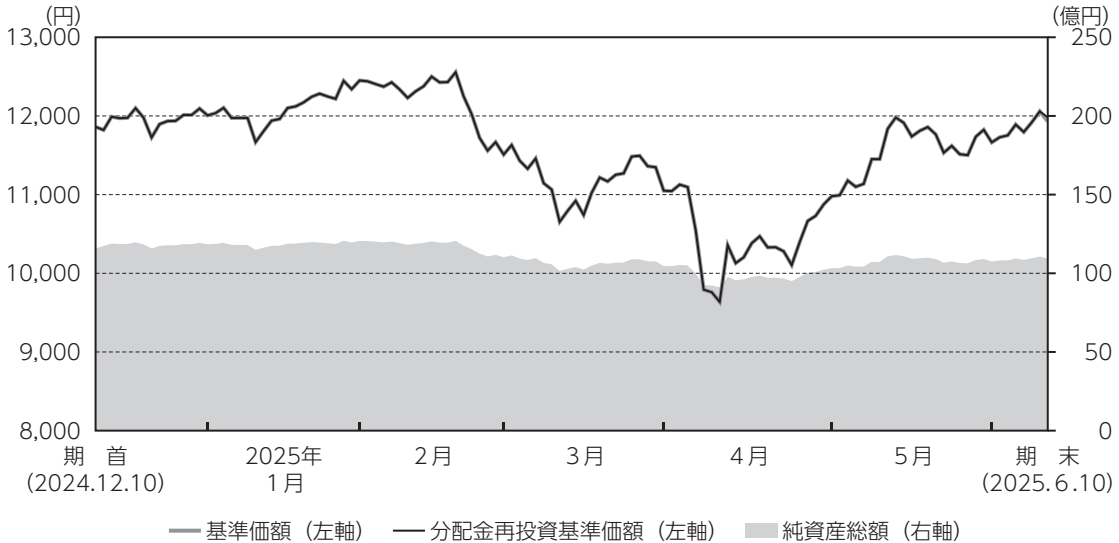
決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
10期末(2023年 6 月12日)	円 10,784	円 0	% 9.4	17,886	% 10.9	% －	% 99.4	百万円 14,749
11期末(2023年12月11日)	10,935	850	9.3	19,677	10.0	－	99.1	13,230
12期末(2024年 6 月10日)	11,509	700	11.7	24,378	23.9	0.0	99.1	12,614
13期末(2024年12月10日)	11,861	800	10.0	25,968	6.5	0.0	99.1	11,585
14期末(2025年 6 月10日)	11,932	50	1.0	25,665	△ 1.2	0.0	99.1	10,944

- (注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注2) MSCI AC World指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,861円

期末：11,932円（分配金50円）

騰落率：1.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、主として為替相場で米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となった一方で、米国や欧州の決済関連銘柄などの保有株式が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2024年12月10日	円 11,861	% －	25,968	% －	% 0.0	% 99.1
12月末	12,006	1.2	26,521	2.1	0.0	99.5
2025年 1 月末	12,451	5.0	26,551	2.2	0.0	99.1
2 月末	11,509	△3.0	25,302	△2.6	0.0	98.9
3 月末	11,050	△6.8	24,519	△5.6	0.0	99.5
4 月末	10,979	△7.4	23,456	△9.7	0.0	99.0
5 月末	11,664	△1.7	25,121	△3.3	0.0	99.0
(期末) 2025年 6 月10日	11,982	1.0	25,665	△1.2	0.0	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.12.11～2025.6.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、当作成期首比で上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、2024年12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで小幅に下落しました。2025年1月中旬以降は、米国のC P I（消費者物価指数）が市場予想を下回りインフレ鈍化が意識されたことや良好な企業決算などが好感され、株価は上昇しました。2月下旬以降

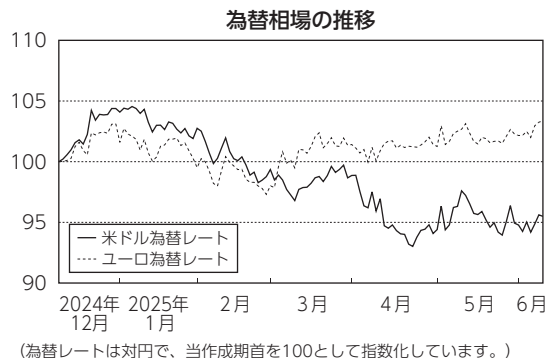
は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念が強まり、下落しました。その後、4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しいものとなったことなどが嫌気されて株価は急落しましたが、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は急反発しました。5月には、米中双方が関税を大幅に引き下げたことなどが好感されて続伸し、当作成期末には当作成期首とほぼ同水準にまで回復しました。欧州では、おおむね米国市場と同様の動きとなりましたが、2025年3月にドイツが財政拡大政策を発表したことを受け、株価は総じて上昇しました。



■為替相場

為替相場は、米ドルは対円で下落した一方、ユーロは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月に入ると、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月から4月にかけては、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したこと、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高基調となりました。5月は、貿易交渉の進展を背景に



リスク選好が強まったことなどから、同月前半に円安が進行しましたが、後半以降は、国内金利の上昇を受けた金利差縮小の思惑などから円高圧力が強まり、米ドル円は再び下落して当作成期末を迎えました。ユーロもおおむね米ドルと同様の推移となりましたが、2025年3月にドイツが財政拡大政策を発表したことを背景に対円で上昇し、その後も欧州と日本の金利差が意識され、当作成期末まで堅調に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024.12.11～2025.6.10)

■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、英国のロンドン証券取引所グループなどを組み入れました。

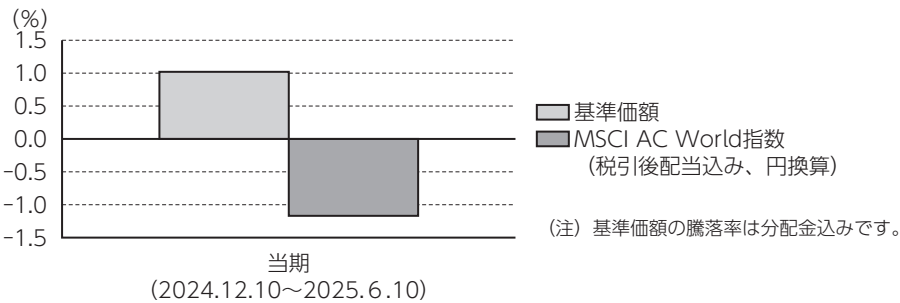
個別銘柄については、業績の見通しが悪化したことから、決済サービス関連銘柄のフライワイヤーやグローバル・ペイメントスを全売却しました。一方で、信頼性の高い決済ソリューションを提供するショッピファイや、東南アジアの金融サービスの成長期待からシンガポールの電子商取引のプラットフォーム運営企業であるシーを新規に組み入れました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年12月11日 ～2025年6月10日	
当期分配金（税込み）（円）	50	
対基準価額比率（％）	0.42	
当期の収益（円）	50	
当期の収益以外（円）	－	
翌期繰越分配対象額（円）	1,973	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 0.20円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 121.02
(c) 収益調整金	407.98
(d) 分配準備積立金	1,494.74
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,023.95
(f) 分配金	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,973.95

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目し、ポートフォリオ構築を行っていく方針です。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.12.11~2025.6.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	71円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,553円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	71	0.618	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

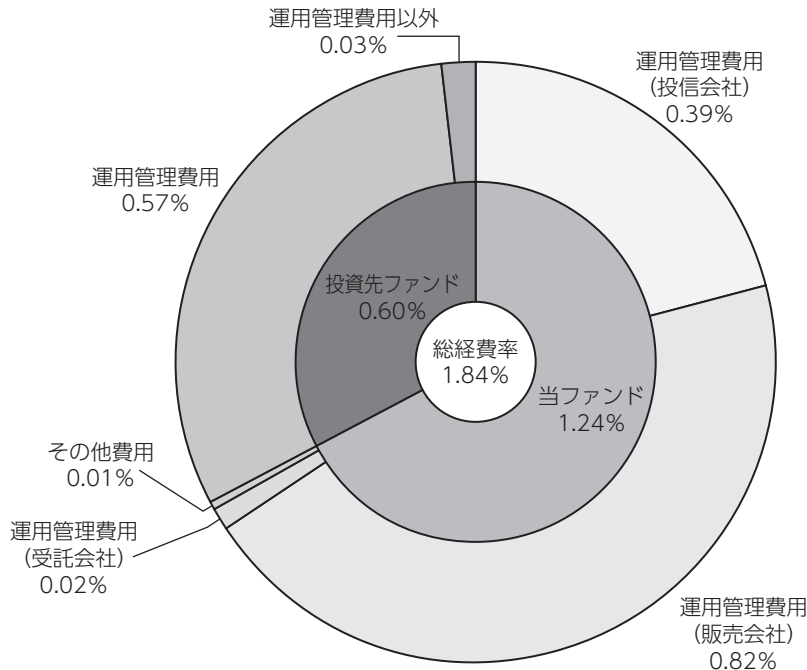
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



総経費率（①+②+③）	1.84%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年12月11日から2025年6月10日まで)

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式ファン ド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	千口 77,744.377	千円 150,000	千口 502,019.46	千円 950,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2024年12月11日から2025年6月10日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等		B / A	売付額等		D / C
	A	うち利害関係人との取引状況B		C	うち利害関係人との取引状況D	
公社債	百万円 178,163	百万円 23,677	% 13.3	百万円 32,086	百万円 —	% —
コール・ローン	7,276,625	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式ファン ド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	千口 5,591,490.274	千円 10,844,136	% 99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	評 価 額
	口 数	口 数	
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年6月10日現在

項 目	当 期 末	評 価 額 比 率
	評 価 額	
投資信託受益証券	千円 10,844,136	% 97.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	247,660	2.2
投資信託財産総額	11,091,797	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	11,091,797,430円
コール・ローン等	247,660,194
投資信託受益証券(評価額)	10,844,136,237
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	146,825,514
未払収益分配金	45,865,341
未払解約金	32,519,514
未払信託報酬	67,985,488
その他未払費用	455,171
(C) 純資産総額(A－B)	10,944,971,916
元本	9,173,068,269
次期繰越損益金	1,771,903,647
(D) 受益権総口数	9,173,068,269口
1万口当り基準価額(C／D)	11,932円

*期首における元本額は9,768,135,983円、当作成期間中における追加設定元本額は175,577,647円、同解約元本額は770,645,361円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は11,932円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月11日 至2025年6月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	300,007円
受取利息	300,007
(B) 有価証券売買損益	179,338,043
売買益	208,348,183
売買損	△ 29,010,140
(C) 信託報酬等	△ 68,440,659
(D) 当期損益金(A + B + C)	111,197,391
(E) 前期繰越損益金	1,371,141,625
(F) 追加信託差損益金	335,429,972
(配当等相当額)	(374,245,002)
(売買損益相当額)	(△ 38,815,030)
(G) 合計(D + E + F)	1,817,768,988
(H) 収益分配金	△ 45,865,341
次期繰越損益金(G + H)	1,771,903,647
追加信託差損益金	335,429,972
(配当等相当額)	(374,245,002)
(売買損益相当額)	(△ 38,815,030)
分配準備積立金	1,436,473,675

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	183,658円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	111,013,733
(c) 収益調整金	374,245,002
(d) 分配準備積立金	1,371,141,625
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,856,584,018
(f) 分配金	45,865,341
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,810,718,677
(h) 受益権総口数	9,173,068,269口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

<補足情報>

当ファンド（ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年6月10日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2024年12月11日から2025年6月10日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
1277国庫短期証券	2025/3/31	43,884,327	1231国庫短期証券 2025/5/20		32,086,550
1305国庫短期証券	2025/8/12	42,359,507			
1296国庫短期証券	2025/6/30	35,369,131			
1286国庫短期証券	2025/5/12	22,682,339			
1306国庫短期証券	2025/8/18	20,581,727			
1303国庫短期証券	2025/8/4	13,286,354			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年6月10日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（214,093,581千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2025年6月10日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 111,700,000	千円 111,642,913	% 52.0	% —	% —	% —	% 52.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年6月10日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1296国庫短期証券		% —	千円 35,400,000	千円 35,393,215	2025/06/30
	1303国庫短期証券		—	13,300,000	13,291,567	2025/08/04
	1305国庫短期証券		—	42,400,000	42,372,139	2025/08/12
	1306国庫短期証券		—	20,600,000	20,585,991	2025/08/18
合 計	銘 柄 数	4銘柄				
	金 額			111,700,000	111,642,913	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2024年12月9日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

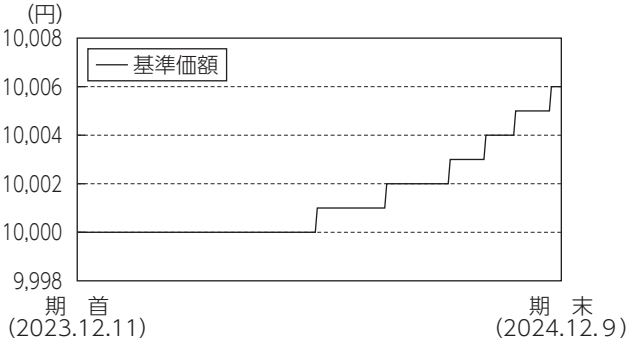
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
	円	%	%
(期首)2023年12月11日	10,000	—	—
12月末	10,000	0.0	—
2024年 1 月末	10,000	0.0	—
2 月末	10,000	0.0	—
3 月末	10,000	0.0	55.3
4 月末	10,000	0.0	82.1
5 月末	10,000	0.0	68.9
6 月末	10,001	0.0	55.2
7 月末	10,002	0.0	69.8
8 月末	10,002	0.0	84.0
9 月末	10,003	0.0	58.2
10月末	10,004	0.0	56.5
11月末	10,005	0.1	56.7
(期末)2024年12月 9 日	10,006	0.1	56.2

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,000円 期末：10,006円 騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	346,632,363	— (212,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
1219国庫短期証券	2024/6/24	129,997,160			
1239国庫短期証券	2024/9/24	69,999,650			
1258国庫短期証券	2024/12/23	53,294,723			
1266国庫短期証券	2025/2/10	41,398,758			
1231国庫短期証券	2025/5/20	39,942,240			
1232国庫短期証券	2024/8/19	11,999,832			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	当			期				末		
区 分	額面金額	評 価 額	組入比率	うち88格以下組入比率	残存期間別組入比率					
					5年以上	2年以上	2年末満			
国債証券	千円 134,700,000	千円 134,670,523	% 56.2	% —	% —	% —	% 56.2			

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当		期		末	
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1258国庫短期証券	%	千円 53,300,000	千円 53,299,179	2024/12/23
	1266国庫短期証券	—	41,400,000	41,399,193	2025/02/10
	1231国庫短期証券	—	40,000,000	39,972,151	2025/05/20
合計	銘柄数 金額	3銘柄	134,700,000	134,670,523	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項目	当		期		末	
	評価額	比率	評価額	比率	評価額	比率
公社債	千円 134,670,523	% 56.2				
コール・ローン等、その他	104,892,215	43.8				
投資信託財産総額	239,562,739	100.0				

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項目	当	期	末
(A) 資産	239,562,739,179円		
コール・ローン等	104,892,215,443		
公社債(評価額)	134,670,523,736		
(B) 負債	—		
(C) 純資産総額(A－B)	239,562,739,179		
元本	239,423,796,545		
次期繰越損益金	138,942,634		
(D) 受益権総口数	239,423,796,545口		
1万口当り基準価額(C／D)	10,006円		

* 期首における元本額は223,366,515,143円、当作成期間中における追加設定元本額は379,388,372,711円、同解約元本額は363,331,091,309円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック　1,268円
 ダイワ／ミレアセット・インド株式ファンド　－インドの匠－　1,270円
 ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり)　998円
 ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし)　998円
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－(為替ヘッジあり)　1,849円
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)　－ロボテック(年1回)－(為替ヘッジあり)　1,985円
 i Freeレバレッジ S&P500　12,280,562,264円
 i Freeレバレッジ NASDAQ100　161,414,548,329円
 クリーンテック株式ファンド(資産成長型)　1,802円
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－(毎月決算／予想分配金提示型)　999円
 世界インフラ戦略ファンド(為替ヘッジなし／資産成長型)　1,501円
 i FreeETF 日経平均レバレッジ・インデックス　4,967,255,494円
 i FreeETF 日経平均ダブルインバース・インデックス　3,734,014,700円
 i FreeETF TOPIXレバレッジ(2倍)指数　1,515,998,588円
 i FreeETF TOPIXダブルインバース(－2倍)指数　801,214,702円
 i FreeETF 日経平均インバース・インデックス　5,058,763,299円
 i FreeETF TOPIXインバース(－1倍)指数　10,715,235,502円
 i FreeETF JPY日経400ダブルインバース・インデックス　64,927,071円
 i FreeETF S&P500レバレッジ　876,757,771円
 i FreeETF S&P500インバース　2,731,982,925円
 ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－SLTトレード－　5,039,566円
 ブルベア・マネー・ポートフォリオ6　19,181,134,074円
 ブル3倍日本株ポートフォリオ6　14,137,732,019円
 ベア2倍日本株ポートフォリオ6　1,917,701,692円
 ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ　20,903,964円
 ダイワ／米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり)　997円
 ダイワ／米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし)　997円
 ダイワ／ミレアセット亜細亜株式ファンド　1,148円
 通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)ミドル・コース　1,833円
 通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)グローバル好配当株α(毎月分配型)ブラジル・リアル・コース　1,788円
 通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)通貨セレクト・コース　1,751円
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)　－ロボテック(年1回)－　1,588円
 ダイワ／ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド　1,813円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,006円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	101,466,211円
受取利息	108,064,601
支払利息	△ 6,598,390
(B) 有価証券売買損益	118
売買益	118
(C) 当期損益金(A + B)	101,466,329
(D) 前期繰越損益金	2,910,485
(E) 解約差損益金	△ 35,737,142
(F) 追加信託差損益金	70,302,962
(G) 合計(C + D + E + F)	138,942,634
次期繰越損益金(G)	138,942,634

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2050年7月15日まで	
運用方針	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	1. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。 ※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。 2. マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。	
	3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	3. 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。 ※一部の通貨について、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行わない、または他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。
マザーファンドの運用方法	4. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
	1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。 ※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期的にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。 ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッド*に運用の指図に関する権限を委託します。 *（2024年11月1日よりアクサ・インベストメント・マネージャーズ・バリから変更されました。） 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利益・配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし／為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第14期（決算日 2025年5月12日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし／為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、このたび第14期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のフィンテック関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》

電話番号：03-5447-3160

受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
10期(2023年5月10日)	13,371		0	2.4	96.6	20,881
11期(2023年11月10日)	14,296		0	6.9	94.7	19,189
12期(2024年5月10日)	17,361		0	21.4	95.9	17,614
13期(2024年11月11日)	19,079		0	9.9	97.4	15,442
14期(2025年5月12日)	18,512		0	△ 3.0	96.8	13,466

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落 率		
(期 首) 2024年11月11日	円	%		%
	19,079	—		97.4
11月末	19,016	△0.3		97.3
12月末	19,331	1.3		95.7
2025年1月末	20,075	5.2		97.8
2月末	18,567	△2.7		94.7
3月末	17,839	△6.5		98.0
4月末	17,738	△7.0		97.4
(期 末) 2025年5月12日	18,512	△3.0		96.8

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
10期(2023年5月10日)	10,327		0	4.4	97.3	2,207
11期(2023年11月10日)	9,695		0	△6.1	96.0	1,894
12期(2024年5月10日)	11,088		0	14.4	96.5	1,850
13期(2024年11月11日)	12,051		0	8.7	97.2	1,629
14期(2025年5月12日)	11,888		0	△1.4	99.1	1,372

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

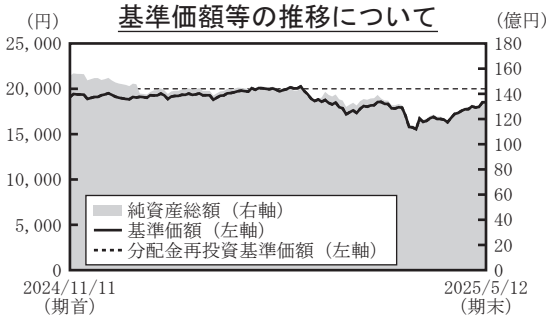
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落 率		
(期 首) 2024年11月11日	円	%		%
	12,051	—		97.2
11月末	12,235	1.5		93.7
12月末	11,889	△1.3		94.7
2025年1月末	12,604	4.6		95.2
2月末	11,953	△0.8		90.6
3月末	11,367	△5.7		95.7
4月末	11,640	△3.4		97.3
(期 末) 2025年5月12日	11,888	△1.4		99.1

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2024年11月12日～2025年5月12日）

為替ヘッジなし

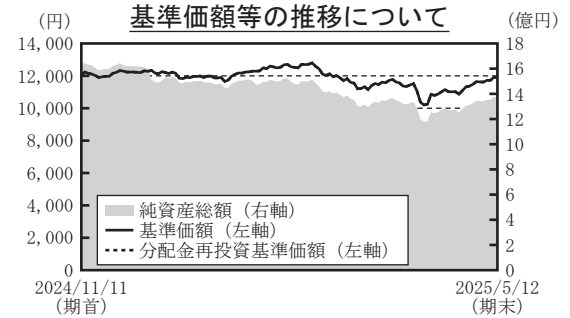


期 首：19,079円

期 末：18,512円（既払分配金0円）

騰落率：△3.0％（分配金再投資ベース）

為替ヘッジあり



期 首：12,051円

期 末：11,888円（既払分配金0円）

騰落率：△1.4％（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

○為替ヘッジなし

当期は、主として米国で保有している株式の株価が下落した他、為替市場で主要通貨に対して円高が進行したことがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

○為替ヘッジあり

当期は、主として米国で保有している株式の株価が下落したことがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初よりドナルド・トランプ氏が米大統領選挙に勝利したことによって税率の引き下げ、規制緩和および成長促進の政策が見込まれ、経済活動および企業収益を支援すると見られることから、市場から好意的に受け止められて上昇しました。12月に入ると再び下落基調になりましたが、2024年の株式市場は、時価総額の大きいテクノロジー株に大きく牽引された米国株を始めとして、堅調なリターンを示しました。2025年は米国を中心に時価総額の大きいテクノロジー株に大きく牽引され堅調なリターンを示した昨年の流れを引き継ぎ、幸先のいいスタートを切りました。2月に入ると地政学的緊張の高まりや貿易政策を巡る不確実性を背景に、グローバル市場では不安定な動きが目立ちました。米政府による主要な貿易相手国への関税導入の可能性やインフレ懸念の高まりが投資家心理を圧迫し、株価は下落に転じました。3月も激化する貿易摩擦や強弱入り混じる経済指標により、4月もグローバル株式市場の不安定な動きにより引き続き下落しましたが、期を通じて上昇となりました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の153円台から期末には145円台となり、ユーロ・円レートは期初の164円台から期末には163円台となりました。

当期は、米ドルはトランプ政権の関税政策の不透明感による米国長期金利の低下や景気減速懸念から、ユーロは欧州中央銀行（ECB）が2025年1月に主要政策金利の0.25%引き下げを決定したことや、ユーロ圏経済への懸念等から米ドル・ユーロに対して円高が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からサイバーアーク・ソフトウェアやフィネコバンク・パンカ・フィネコなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

当期は、欧州の銀行と決済業界へのエクスポージャーを削減し、フランスの大手銀行ソシエテ・ジェネラルと汎欧州の決済サービス会社ネクシィを全売却しました。その売却代金で米国の銀行JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーと金融サービス企業ブロックを再買付しました。一方で、米国のフードサービステクノロジー企業PARテクノロジーを新規で組み入れました。同社は、ファーストフード店や最近ではコンビニ店舗向けにソフトウェアや決済ソリューション基盤を開発しています。運用チームが実施した経営陣とのミーティングの良好な結果を経て、同社がマクロ経済の不確実性にもかかわらず自らの戦略を実行し続ける能力を備えているとの確信を得ました。また、カナダの多国籍eコマース企業ショッピファイも新たに組み入れました。同社は世界で200万社以上のオンライン販売業者を支援する大手eコマース・プラットフォームであり、信頼性の高い決済ソリューションとインフラを通じて取引を促進しています。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

○為替ヘッジなし

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり、税込み)

第14期	
2024年11月12日～2025年5月12日	
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,952

(注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

○為替ヘッジあり

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳 (単位：円、1 万口当たり、税込み)

		第14期
		2024年11月12日～2025年 5 月12日
当期分配金 (対基準価額比率)		—
		— %
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		5,395

(注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
(注2) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1 万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高
位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成
長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィン
テック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT
技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この
動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期
トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細（2024年11月12日～2025年 5 月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	53円	0.286%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は18,659円です。
（投 信 会 社）	(51)	(0.274)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.020	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(4)	(0.020)	
そ の 他 費 用	3	0.017	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.013)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	60	0.323	

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2024年11月12日～2025年 5 月12日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	496,558	970,000	1,303,321	2,580,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2024年11月12日～2025年5月12日）
株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	6,442,723千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	14,832,187千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.43

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2024年11月12日～2025年5月12日）

期中の利害関係人との取引はありません。
（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2024年11月12日～2025年5月12日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2025年5月12日現在）
親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 7,770,973	千口 6,964,209	千円 13,410,282

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	13,410,282	99.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	96,221	0.7
投 資 信 託 財 産 総 額	13,506,504	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（14,184,108千円）の投資信託財産総額（14,848,907千円）に対する比率は、95.5%です。
- (注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=145.96円、1シンガポールドル=112.44円、1英ポンド=193.95円、1スウェーデンクローナ=15.03円、1メキシコペソ=7.511円、100インドネシアルピア=0.89円、1南アフリカランド=8.01円、1ユーロ=163.93円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

■損益の状況

(2025年5月12日現在)

当期（自 2024年11月12日 至 2025年5月12日）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	13,506,504,058円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	56,221,789
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	13,410,282,269
未 収 入 金	40,000,000
(B) 負 債	40,283,304
未 払 信 託 報 酬	39,679,404
そ の 他 未 払 費 用	603,900
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	13,466,220,754
元 本	7,274,403,415
次 期 繰 越 損 益 金	6,191,817,339
(D) 受 益 権 総 口 数	7,274,403,415口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,512円

1. 期首元本額 8,093,946,346円
期中追加設定元本額 555,442,552円
期中一部解約元本額 1,374,985,483円
2. 1口当たり純資産額 1.8512円

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	69,388円
受 取 利 息	69,388
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 363,121,295
売 買 益	57,648,947
売 買 損	△ 420,770,242
(C) 信 託 報 酬 等	△ 40,283,304
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	△ 403,335,211
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	5,335,530,630
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,259,621,920
(配 当 等 相 当 額)	(1,128,682,628)
(売 買 損 益 相 当 額)	(130,939,292)
(G) 計 (D＋E＋F)	6,191,817,339
次 期 繰 越 損 益 金(G)	6,191,817,339
追 加 信 託 差 損 益 金	1,259,621,920
(配 当 等 相 当 額)	(1,129,382,210)
(売 買 損 益 相 当 額)	(130,239,710)
分 配 準 備 積 立 金	5,382,837,754
繰 越 損 益 金	△ 450,642,335

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（47,307,124円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（1,129,382,210円）および分配準備積立金（5,335,530,630円）より分配対象収益は6,512,219,964円（10,000口当たり8,952.24円）ですが、当期に分配した金額はありません。

■ 1万口当たりの費用明細（2024年11月12日～2025年5月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0.286%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,867円です。
（投 信 会 社）	(33)	(0.274)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.020	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.020)	
そ の 他 費 用	8	0.064	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(5)	(0.042)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(3)	(0.022)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	44	0.370	

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2024年11月12日～2025年5月12日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	32,525	60,000	124,478	250,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2024年11月12日～2025年 5 月12日）
 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	6, 442, 723千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	14, 832, 187千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0. 43

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2024年11月12日～2025年 5 月12日）

期中の利害関係人との取引はありません。
 (注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2024年11月12日～2025年 5 月12日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2025年 5 月12日現在）
 親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
千円	千円	千円	千円
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	818, 120	726, 167	1, 398, 308

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2025年5月12日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	1,398,308	98.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	22,351	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	1,420,660	100.0

- （注1）評価額の単位未満は切捨て。
（注2）アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（14,184,108千円）の投資信託財産総額（14,848,907千円）に対する比率は、95.5%です。
（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル＝145.96円、1シンガポールドル＝112.44円、1英ポンド＝193.95円、1スウェーデンクローナ＝15.03円、1メキシコペソ＝7.511円、100インドネシアルピア＝0.89円、1南アフリカランド＝8.01円、1ユーロ＝163.93円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2025年5月12日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,720,255,397円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	22,350,155
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	1,398,308,449
未 収 入 金	1,299,596,793
(B) 負 債	1,348,006,420
未 払 金	1,343,281,817
未 払 信 託 報 酬	4,120,703
そ の 他 未 払 費 用	603,900
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	1,372,248,977
元 本	1,154,301,512
次 期 繰 越 損 益 金	217,947,465
(D) 受 益 権 総 口 数	1,154,301,512口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,888円

1. 期首元本額 1,352,321,808円
期中追加設定元本額 26,925,588円
期中一部解約元本額 224,945,884円
2. 1口当たり純資産額 1.1888円

■損益の状況

当期（自 2024年11月12日 至 2025年5月12日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	38,473円
受 取 利 息	38,473
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 15,789,468
売 買 益	120,194,611
売 買 損	△135,984,079
(C) 先 物 取 引 等 損 益	1,368,742
取 引 益	2,655,916
取 引 損	△ 1,287,174
(D) 信 託 報 酬 等	△ 4,869,427
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 19,251,680
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	127,080,914
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	110,118,231
(配 当 等 相 当 額)	(150,328,620)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 40,210,389)
(H) 計 (E+F+G)	217,947,465
次 期 繰 越 損 益 金(H)	217,947,465
追 加 信 託 差 損 益 金	110,118,231
(配 当 等 相 当 額)	(150,350,939)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 40,232,708)
分 配 準 備 積 立 金	472,445,421
繰 越 損 益 金	△364,616,187

- （注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注2）損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注3）損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（3,934,792円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（150,350,939円）および分配準備積立金（468,510,629円）より分配対象収益は622,796,360円（10,000口当たり5,395.44円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。 ※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。 ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリ*に運用の指図に関する権限を委託します。 *（2024年11月1日よりアクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の拠点を変更） 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日：2025年5月12日）

（計算期間 2024年5月11日～2025年5月12日）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		
	円	%	%	百万円
3期(2021年5月10日)	15,656	49.4	96.1	56,035
4期(2022年5月10日)	12,508	△20.1	95.9	26,535
5期(2023年5月10日)	13,737	9.8	96.8	23,051
6期(2024年5月10日)	17,961	30.7	95.9	19,474
7期(2025年5月12日)	19,256	7.2	97.2	14,808

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

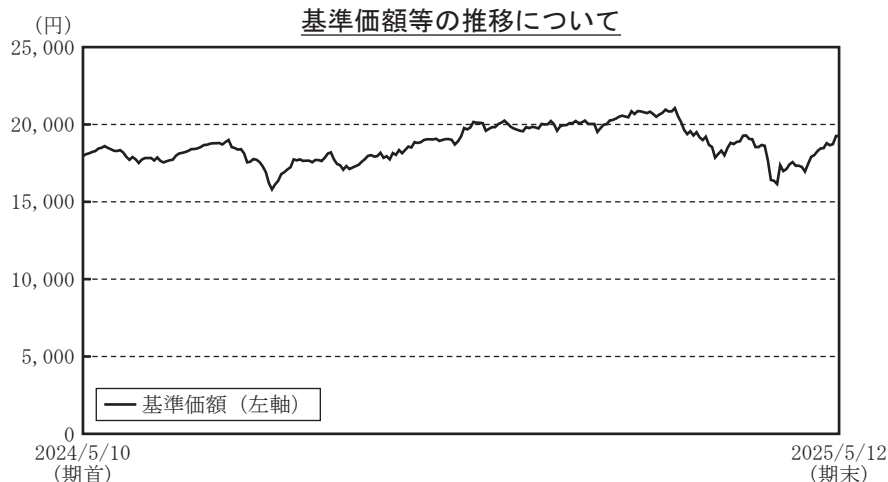
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	株 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2024年5月10日	17,961	—	95.9
5月末	17,713	△ 1.4	94.9
6月末	18,407	2.5	94.8
7月末	17,567	△ 2.2	96.4
8月末	17,841	△ 0.7	95.8
9月末	17,845	△ 0.6	94.9
10月末	19,007	5.8	96.1
11月末	19,740	9.9	97.6
12月末	20,078	11.8	96.0
2025年1月末	20,863	16.2	98.0
2月末	19,288	7.4	94.9
3月末	18,543	3.2	98.2
4月末	18,447	2.7	97.6
(期 末)			
2025年5月12日	19,256	7.2	97.2

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2024年5月11日～2025年5月12日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、米国や欧州を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初より予想を上回る企業業績や人工知能（ＡＩ）への高い期待に支えられて株価は上昇し、6月も引き続き堅調に推移しました。8月に入ると日銀の積極的な利上げ姿勢を受けたキャリートレードの巻き戻しで日本市場が急落したのを皮切りに、欧米でもマクロ経済のシナリオがソフトランディングからハードランディングに変化するかもしれないとの見方から、下落基調が続きました。しかしながら、月後半にかけては不安材料は概ね後退し、パウエル米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）議長の9月利下げ開始を示唆する発言などを受けて株価は上昇に転じました。9月に入ると、雇用の減速とインフレの鈍化を示す最近の経済指標に対応してＦＲＢは予想を上回る50ベースポイントの利下げに踏み切りました。この様な状況下、株価は引き続き上昇しましたが、10月に入ると米大統領選挙を前に投資家が守りに入り、ＦＲＢによる大幅利下げの期待が堅調な経済指標により後退したため、株価は下落しました。11月に入るとドナルド・トランプ氏が米大統領選挙に勝利したことによって税率の引き下げ、規制緩和および成長促進の政策が見込まれ、経済活動および企業収益を支援すると見られることから、市場から好意的に受け止められて上昇しました。12月に入ると再び下落基調になりましたが、2024年の株式市場は、時価総額の大きいテクノロジー株に大きく牽引された米国株を始めとして、堅調なリターンを示しました。2025年は米国を中心に時価総額の大きいテクノロジー株に大きく牽引され堅調なリターンを示した昨年の流れを引き継ぎ、幸先のいいスタートを切りました。2月に入ると地政学的緊張の高まりや貿易政策を巡る不確実性を背景に、グローバル市場では不安定な動きが目立ちました。米政府による主要な貿易相手国への関税導入の可能性やインフレ懸念の高まりが投資家心理を圧迫し、株価は下落に転じました。3月も激化する貿易摩擦や強弱入り混じる経済指標により、4月もグローバル株式市場の不安定な動きにより引き続き下落しましたが、期を通じて上昇となりました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の155円台から期末には145円台となり、ユーロ・円レートは期初の167円台から期末には163円台となりました。

当期は、米ドルはトランプ政権の関税政策の不透明感による米国長期金利の低下や景気減速懸念から、ユーロは欧州中央銀行（ECB）が2025年1月に主要政策金利の0.25%引き下げを決定したことや、ユーロ圏経済への懸念等から米ドル・ユーロに対して円高が進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からサイバーアーク・ソフトウェアやフィネコバンク・バンカ・フィネコなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

当期は、欧州の銀行と決済業界へのエクスポージャーを削減し、フランスの大手銀行ソシエテ・ジェネラルと汎欧州の決済サービス会社ネクシィを全売却しました。その売却代金で米国の銀行JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーと金融サービス企業ブロックを再買付しました。一方で、米国のフードサービステクノロジー企業PARテクノロジーを新規で組み入れました。同社は、ファーストフード店や最近ではコンビニ店舗向けにソフトウェアや決済ソリューション基盤を開発しています。運用チームが実施した経営陣とのミーティングの良好な結果を経て、同社がマクロ経済の不確実性にもかかわらず自らの戦略を実行し続ける能力を備えているとの確信を得ました。また、カナダの多国籍eコマース企業ショッピファイも新たに組み入れました。同社は世界で200万社以上のオンライン販売業者を支援する大手eコマース・プラットフォームであり、信頼性の高い決済ソリューションとインフラを通じて取引を促進しています。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細（2024年 5 月11日～2025年 5 月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	7円 (7)	0.035% (0.035)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	7 (7)	0.037 (0.037)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	13	0.072	

(注 1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注 2) 「比率」欄は、「1 万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（18,714円）で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2024年 5 月11日～2025年 5 月12日）
株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	日 本	千株 24.1	千円 65,348	千株 23.1	千円 106,322
外 国	ア メ リ カ	百株 2,551.05 (83.41)	千米ドル 15,853 (－)	百株 7,985.64	千米ドル 26,784
	シ ン ガ ポ ー ル	74	千シンガポールドル 338	223	千シンガポールドル 853
	イ ギ リ ス	1,176.45	千英ポンド 1,219	1,442.05	千英ポンド 3,196
	ス ウ ェ ー デ ン	1,157.12	千スウェーデンクローナ 7,387	2,903.3	千スウェーデンクローナ 39,401
	メ キ シ コ	－	千メキシコペソ －	821	千メキシコペソ 12,236
	イ ン ド ネ シ ア	－	千インドネシアルピア －	9,778	千インドネシアルピア 9,634,608
	ブ ラ ジ ル	－	千ブラジルリアル －	13,129	千ブラジルリアル 7,382
	南 ア フ リ カ	－	千南アフリカランド －	32.12	千南アフリカランド 8,874
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オ ラ ン ダ	6.51	945	850.62	1,488
国	フ ラ ン ス	－	－	1,591.63	4,351
	ド イ ツ	－	－	126.65	2,799

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	ユーロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	ス ペ イ ン	—	—	1,557.62	811
	イ タ リ ア	—	—	4,929.12	4,103
	オ ー ス ト リ ア	—	—	146.65	809

(注1) 金額は受け渡し代金。
(注2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2024年5月11日～2025年5月12日）

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	11,373,371千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	15,633,499千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.72

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■主要な売買銘柄（2024年5月11日～2025年5月12日）

買 付		売 付	
銘 柄	株 数 金 額 平均単価	銘 柄	株 数 金 額 平均単価
BLOCK INC	千株 26.664 352,800 13,231	HYPOPORT SE	千株 12.665 468,608 37,000
JPMORGAN CHASE & CO.	8.4 315,563 37,567	VISA INC.	9.004 410,097 45,546
WISE PLC - A	117.645 233,878 1,987	STONECO LTD-A	223.053 405,950 1,819
BILL HOLDINGS INC	29.524 225,396 7,634	SOCIETE GENERALE-A	99.574 403,263 4,049
ROBINHOOD MARKETS INC - A	33.17 224,575 6,770	NORDNET AB PUBL	108.379 358,704 3,309
SEA LTD-ADR	12.731 222,948 17,512	EXPERIAN PLC	48.921 350,588 7,166
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	4.845 219,874 45,381	FINECOBANK SPA	129.048 338,581 2,623
SHOPIFY INC - CLASS A	16.666 191,507 11,490	GLOBAL PAYMENTS INC	20.834 333,377 16,001
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A	91.874 173,068 1,883	NEXI SPA	363.864 330,981 909
ADYEN NV	0.651 154,070 236,667	PAYONEER GLOBAL INC	232.698 318,645 1,369

(注1) 金額は受け渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2024年5月11日～2025年5月12日）

期中の利害関係人との取引はありません。
(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2024年5月11日～2025年5月12日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2025年5月12日現在）

(1) 国内株式

銘柄		前 期 末	当 期 末	
		株 数	評 価 額	
			株 数	金 額
情報・通信業（100.0%）		千株	千株	千円
GMOペイメントゲートウェイ		37.3	29.3	269,442
フリー		64.2	73.2	297,558
合 計	株 数 ・ 金 額	101.5	102.5	567,000
	銘柄 数<比率>	2	2	<3.8%>

（注1）銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

（注2）合計欄のく >内は純資産総額に対する評価額の比率。

（注3）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘 柄	前 期 末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	130.53	102.19	3,673	536,232	ソフトウェア・サービス
AFFIRM HOLDINGS INC	—	103.09	478	69,833	金融サービス
BILL HOLDINGS INC	—	263.22	1,177	171,812	ソフトウェア・サービス
BLACKLINE INC	219.54	171.86	914	133,525	ソフトウェア・サービス
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	—	48.45	965	140,954	金融サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	98.53	69.8	2,865	418,289	ソフトウェア・サービス
FLYWIRE CORP-VOTING	622.4	—	—	—	金融サービス
FISERV INC	312.02	231.37	4,258	621,618	金融サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	208.34	—	—	—	金融サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	291.49	205.93	3,672	536,016	金融サービス
INTUIT INC	35.38	34.01	2,223	324,592	ソフトウェア・サービス
JPMORGAN CHASE & CO.	—	84	2,125	310,292	銀行
MERCADOLIBRE INC	25.37	20.46	5,012	731,653	一般消費財・サービス流通・小売り
PALO ALTO NETWORKS INC	115.76	140.11	2,619	382,280	ソフトウェア・サービス
PAR TECHNOLOGY CORP/DEL	—	134	867	126,603	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PAYLOCITY HOLDING CORP	105.39	89.98	1,751	255,590	商業サービス・用品
PAYPAL HOLDINGS INC	350.13	241.25	1,695	247,405	金融サービス
PAYONEER GLOBAL INC	4,796.47	2,469.49	1,637	238,976	金融サービス
ROBINHOOD MARKETS INC - A	—	331.7	1,812	264,587	金融サービス
S&P GLOBAL INC	84.96	66.5	3,376	492,820	金融サービス

銘柄		前 期 末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額 邦貨換算金額		
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
SEA LTD-ADR		—	127.31	1,771	258,608	メディア・娯楽
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A		458.61	323.98	2,771	404,455	金融サービス
SHOPIFY INC - CLASS A		—	166.66	1,529	223,236	ソフトウェア・サービス
BLOCK INC		—	266.64	1,342	195,994	金融サービス
VISA INC.		199.85	109.81	3,871	565,046	金融サービス
WEX INC		185.4	83.48	1,059	154,636	金融サービス
WORKDAY INC-CLASS A		63.03	70.43	1,825	266,436	ソフトウェア・サービス
WORKIVA INC		332.12	287.26	1,941	283,310	ソフトウェア・サービス
ZSCALER INC		114.91	98.08	2,285	333,643	ソフトウェア・サービス
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A		1,088.36	1,686.94	2,164	315,907	銀行
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A		1,310.06	—	—	—	金融サービス
STONECO LTD-A		2,230.53	—	—	—	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	13,379.18	8,028	61,690	9,004,359	
		23	28	—	<60.8%>	
(シンガポール)				千シンガポール ドル		
DBS GROUP HOLDINGS LTD		1,034	885	3,868	434,955	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	1,034	885	3,868	434,955	
		1	1	—	<2.9%>	
(イギリス)				千英ポンド		
GB GROUP PLC		4,094.22	3,247.02	904	175,388	ソフトウェア・サービス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP		349.61	243.97	2,756	534,693	金融サービス
EXPERIAN PLC		1,369.44	880.23	3,375	654,713	商業サービス・用品
WISE PLC - A		—	1,176.45	1,222	237,071	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	5,813.27	5,547.67	8,259	1,601,865	
		3	4	—	<10.8%>	
(スウェーデン)				千スウェーデン クローナ		
NORDNET AB PUBL		1,954.34	870.55	22,721	341,501	金融サービス
FORTNOX AB		2,329.65	1,667.26	14,488	217,761	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	4,283.99	2,537.81	37,209	559,263	
		2	2	—	<3.8%>	
(メキシコ)				千メキシコペソ		
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O		3,775	2,954	47,798	359,044	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	3,775	2,954	47,798	359,044	
		1	1	—	<2.4%>	
(インドネシア)				千インドネシア ルピア		
BANK CENTRAL ASIA TBK PT		45,020	35,242	31,717,800	282,288	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	45,020	35,242	31,717,800	282,288	
		1	1	—	<1.9%>	
(ブラジル)				千ブラジルリアル		
CIELO SA		13,129	—	—	—	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	13,129	—	—	—	
		1	—	—	<—>	

銘 柄		前 期 末	当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額 邦貨換算金額	
(南アフリカ)		百株	百株	千南アフリカランド 千円	
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD		147.86	115.74	39,588	317,104 銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	147.86	115.74	39,588	317,104
	銘 柄 数<比 率>	1	1	—	<2.1%>
(オランダ)				千ユーロ	
ADYEN NV		7.97	12.77	2,022	331,508 金融サービス
ING GROEP NV-CVA		848.91	—	—	— 銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	856.88	12.77	2,022	331,508
	銘 柄 数<比 率>	2	1	—	<2.2%>
(フランス)				千ユーロ	
SOCIETE GENERALE-A		995.74	—	—	— 銀行
EDENRED		595.89	—	—	— 金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	1,591.63	—	—	—
	銘 柄 数<比 率>	2	—	—	<—>
(ドイツ)				千ユーロ	
HYPOPORT SE		126.65	—	—	— 金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	126.65	—	—	—
	銘 柄 数<比 率>	1	—	—	<—>
(スペイン)				千ユーロ	
BANCO SANTANDER SA		3,919.7	2,362.08	1,571	257,614 銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	3,919.7	2,362.08	1,571	257,614
	銘 柄 数<比 率>	1	1	—	<1.7%>
(イタリア)				千ユーロ	
NEXI SPA		3,638.64	—	—	— 金融サービス
FINECOBANK SPA		2,716.22	1,425.74	2,598	425,957 銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	6,354.86	1,425.74	2,598	425,957
	銘 柄 数<比 率>	2	1	—	<2.9%>
(オーストリア)				千ユーロ	
ERSTE GROUP BANK AG		370.99	224.34	1,565	256,696 銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	370.99	224.34	1,565	256,696
	銘 柄 数<比 率>	1	1	—	<1.7%>
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	13,220.71	4,024.93	7,758	1,271,777
	銘 柄 数<比 率>	9	4	—	<8.6%>
合 計	株 数 ・ 金 額	99,803.01	59,335.15	—	13,830,660
	銘 柄 数<比 率>	42	42	—	<93.4%>

(注 1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注 2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。
(注 3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 4) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年 5 月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 14, 397, 661	% 97. 0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	451, 246	3. 0
投 資 信 託 財 産 総 額	14, 848, 907	100. 0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 期末における外貨建て資産 (14, 184, 108千円) の投資信託財産総額 (14, 848, 907千円) に対する比率は、95. 5%です。
(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=145. 96円、1シンガポールドル=112. 44円、1英ポンド=193. 95円、1スウェーデンクローナ=15. 03円、1メキシコペソ=7. 511円、100インドネシアルピア=0. 89円、1南アフリカランド=8. 01円、1ユーロ=163. 93円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年 5 月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	14, 848, 907, 671円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	297, 615, 200
株 式 (評価額)	14, 397, 661, 454
未 収 入 金	148, 906, 876
未 収 配 当 金	4, 724, 141
(B) 負 債	40, 000, 000
未 払 解 約 金	40, 000, 000
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	14, 808, 907, 671
元 本	7, 690, 377, 399
次 期 繰 越 損 益 金	7, 118, 530, 272
(D) 受 益 権 総 口 数	7, 690, 377, 399口
1万口当たり基準価額 (C/D)	19, 256円

1. 期首元本額10, 842, 445, 105円
- 期中追加設定元本額640, 556, 323円
- 期中一部解約元本額3, 792, 624, 029円
2. 1口当たりの純資産額1. 9256円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
- アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替なし)6, 964, 209, 737円
- アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替あり)726, 167, 662円
- 期末元本合計7, 690, 377, 399円

■損益の状況

(2024年 5 月11日～2025年 5 月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	237, 994, 445円
受 取 配 当 金	215, 039, 063
受 取 利 息	22, 900, 138
そ の 他 収 益 金	55, 244
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	992, 842, 492
売 買 益	3, 079, 306, 742
売 買 損	△2, 086, 464, 250
(C) そ の 他 費 用	△ 6, 029, 894
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1, 224, 807, 043
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8, 631, 655, 523
(F) 解 約 差 損 益 金	△3, 327, 375, 971
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	589, 443, 677
(H) 計 (D + E + F + G)	7, 118, 530, 272
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	7, 118, 530, 272

- (注1) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で (F) 解約差損益金とあるのは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注3) 損益の状況の中で (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。